

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 日本語表現 I ナンバリング：1003		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：山畑昭司 担当形態：単独
授業の到達目標及びテーマ 1. 保育者になるために必要な国語表現技術を身に付け、実践に生かすことができる。 2. 多様な語彙や表現を知り、他者に伝えることを意識して文章を書くことができる。 3. 自らの学びを言語化する「振り返り」を行うことで、学びの内省を図り、実践に生かすことができる。			
授業の概要 二年後に保育者となることを想定し、どのような日本語力が求められるか考え、それらを意識した上で実践力を培う。また保育者に必要な漢字・敬語・文章表現の力を、繰り返し学習する中で身に付ける。			
授業計画 第1回：オリエンテーション、保育者に求められる国語の力 第2回：国語辞典の使い方、幼稚園・保育所で使う漢字50 第3回：当て字を正しく書こう 第4回：漢字テスト①、話し言葉を書き言葉に(1)(実習日誌の注意) 第5回：話し言葉を書き言葉に(2)(実習日誌の注意) 第6回：漢字テスト②、敬語の使い方(1) 第7回：敬語の使い方(2)、敬語練習問題 第8回：読書感想文の書き方、実習日誌から間違えやすい漢字50 第9回：漢字テスト③、尊敬語・謙譲語の応用、敬語を正しく直す 第10回：暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 第11回：漢字テスト④、暑中見舞いを書く(下書き→清書) 第12回：電話の受け方(敬語表現に置き換えて) 第13回：読み聞かせの基本、読み聞かせ実践練習(実習に向けて) 第14回：漢字テスト⑤、実習日誌から学ぶ(実例からの気づき) 第15回：保育者の自己紹介の仕方、前期試験について 定期試験：筆記		授業時間外の学習 <毎回1時間程度> ・復習を兼ねた小テスト(漢字テスト)に向けての学習	
授業の方法 講義と演習(ディスカッション・グループ活動)を組み合わせて行う。 小テストや授業後に提出するプリントをチェックする			
テキスト 『保育者になるための国語表現』 田上貞一郎著、萌文書林			
参考書・参考資料等 適宜プリントを配布する。			
学生に対する評価 小テスト(20%)、提出物・発表(20%)、試験(60%)を判断し、ルーブリックを活用して評価する。			
履修上の注意 ・主体的に学習に臨むこと。 ・出席と授業参画は当然のことと自覚しておくこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	元公立中学校国語科教諭 元県教育局教育事務所国語科担当指導主事
実務経験を活かした教育内容 国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、日本語力の向上を図る。			